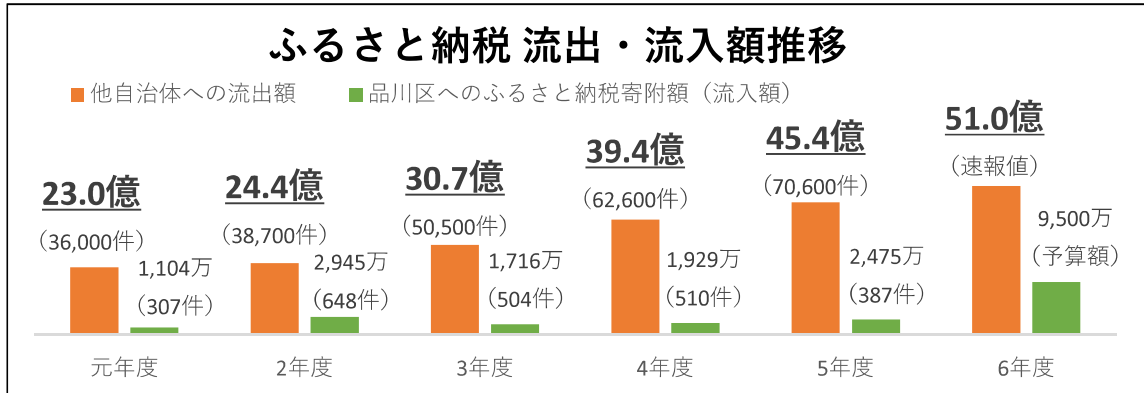


# ふるさと納税について

## 1. 現状

- ・ふるさと納税による区の減収額は毎年大きくなっており、区の財政運営に大きな影響をおよぼしている。
- ・令和5年度の流出額は約45.4億円に対し、流入額は約2,475万円である。**令和6年度の流出額は51億円の見込みである。(速報値)**



## 2. 令和6年度予算措置

項目	予算額	内訳
歳入	95,000 千円	一般分 24,000 千円 クラウドファンディング分 71,000 千円

## 3. 令和6年度の取組み方針

国に対して制度の抜本的な見直しを継続的に行うとともに、財源確保の観点から、以下の2つを強化する。

### (1) クラウドファンディング型ふるさと納税事業の拡充

多くの方から理解・共感を得られる応援プロジェクト型の事業への寄附募集の推進

- ① 「ウェルビーイング」、「区のブランディング」、「区民参加」、「地域課題等の解決」の観点から、多くの方から理解・共感を得られる事業を選定。
- ② クラウドファンディングの募集期間は原則最大 90 日間。

単位：千円

	事業名	募集時期	部署	歳入予算
1	子どもの食の支援事業	8～12月	子ども未来部子育て応援課	7,000
2	子ども・若者応援事業 (子ども若者応援フリースペース)	10～12月予定	子ども未来部子ども育成課	15,000
3	しながわ水辺の観光フェスタ (イベント10月予定)	9月上旬予定	文化観光スポーツ振興部文化観光戦略課	10,000
4	しながわシティラン (イベント3月予定)	9～11月検討中	文化観光スポーツ振興部スポーツ推進課	15,000
5	パラスポーツ・デフスポーツの支援 (イベント9～11月予定)	9～11月検討中	文化観光スポーツ振興部スポーツ推進課	10,000
6	孤独・孤立対策推進 (イベント11/28)	10～12月予定	福祉部福祉計画課	9,000
7	トイレトラック	10～12月予定	防災まちづくり部防災課	5,000

**(2) 体験型返礼品の追加・拡充**

行財政改革特別委員会資料  
令和6年7月30日  
企画経営部 税務課

地元企業等と連携し、地域 資源を活用した体験型の返礼品の開発

	会社名	返礼品	寄附額	目標額	開始時期
1	セガサミー 	セガサミールクスによる「ダンスレッスン」 プロダンスチーム『SEGA SAMMY LUX (セガサミールクス)』のメンバー (2名程度) が講師となりダンスレッスンを行う。定員 1回 20名、レッスン時間は 90分程度を予定。  開催日：令和6年10月20日 (日) 時間：①13:00~14:30 (初心者向け) ②15:00~16:30 (経験者向け) 場所：五反田文化センター 第2スタジオ 人数：①20名、②20名	3.5万円  	140万円	8月上旬頃 ふるさとチョイス、ふるさとパレットのサイトにて寄附受付開始予定
2	JR 東日本 	車両点検ツアー JR 東日本の車両基地・車両工場である東京総合車両センターにて、実物の車両の各種点検や見学ができる2時間30分程度のツアー。 1回あたり2名 5~10回開催 (調整中)。 	10万円  運転台ワイパー操作体験 (イメージ)  車内放送体験 (イメージ)	100万円	9月~10月頃 JREMALL ふるさと納税のサイトにて寄附受付開始予定
3	DMC aizu 	区内のホテル宿泊代やレストラン飲食代に使える電子クーポン (寄附額の3割分) 例：1万円の寄附で3千円のクーポン  専用サイト (ふるさと応援納税) にアクセスし、その場で寄附と同時に返礼品の電子クーポンが受け取れるサービス。 	2千円~ 上限なし	60万円 	7月22日開始済み 専用サイト (ふるさと応援納税) にて寄附受付開始予定  ※開始時はホテルニューオータニ東京のみ。 随時追加予定。
4	アソビュー 	“遊び”の予約サイト「アソビュー」で区内の施設予約・チケット購入に使える電子クーポン (寄附額の3割分)  (例) キャンドル作り体験、東京メガイルミ、パーソナルトレーニングジム、しながわ水族館 等	5千円 1万円 2万円 	50万円	9月~10月頃 専用サイト (アソビューふるさと納税) にて寄附受付開始予定     
			1 アソビュー!ふるさと納税で寄附し地域クーポンを獲得	2 アソビュー!で地域クーポンを使って予約	3 現地で体験

## ウェルビーイング・SDGs推進ファンド検討状況について

### 1 実施方法

区の50,000千円と民間企業等から募る資金を活用し、ウェルビーイング・SDGs推進事業実行委員会（以下、「実行委員会」という。）にて助成対象事業の審査や決定、評価等を行い、地域課題・行政課題の解決を図る民間事業者等に対して資金提供を行う。

#### 【資金の流れ】

- (1) 財源：区は実行委員会に対してSDGs推進事業補助金を交付する。  
実行委員会は趣旨に賛同した民間企業等から協賛金（寄付）を募る。
  - (2) 予算：実行委員会は基金を造成し、区の補助金および民間企業等から募った資金を基金積立金として予算計上する。
  - (3) 助成：実行委員会は、審査を経て決定した交付対象事業者に対して、基金から助成を行う。
  - (4) 報告：実行委員会は交付対象事業者に対して事業計画の提出や実績報告を求める。  
実行委員会は区に対して事業計画の提出や収支・実績報告を行う。
  - (5) 精算：実行委員会は交付対象事業者からの実績報告に基づき、調査・助成金の額の確定をし、既にその額を超える助成金が交付されているときは返還を命ずる。
- ※区は実行委員会からの収支・実績報告後に議会へ報告する。

### 2 実行委員会

- (1) 委員構成（◎：委員長、○副委員長）

氏名（敬称略）	所属／専門
◎山本 達也	清泉女子大学地球市民学科教授、しながわ共創推進プラットフォーム運営協議会委員長／公共政策論、民主主義論、情報社会論
○和田 恵	慶應義塾大学SFC研究所上席所員、SDGs－SWY、しながわ共創推進プラットフォーム運営協議会副委員長／SDGs
清宮 俊久	セガサミーホールディングス（株）経営企画本部投資マジメント部 部長 ／経済
杉山 由美恵	（一社）でっこぼっこ 理事・地域コミュニケーター／地域・子育て
濱松 誠	品川区教育委員、（一社）ONE JAPAN Resource Management 代表理事 ／教育・経済

- (2) 実行委員会の業務

- ・提案事業に対する審査、交付対象事業者の選定
- ・交付対象事業者に対する助成、実績報告に基づく調査・助成金の額の確定
- ・成果報告に対する評価
- ・関係企業・関係団体等との連絡調整
- ・総会等の会議の開催
- ・実行委員会の会計

### 3 助成金額（最長で2年継続して申請可）

- (1) 1年目：事業費のうち助成対象経費の5分の4以内で、1事業あたり上限500万円
- (2) 2年目：事業費のうち助成対象経費の2分の1以内で、1事業あたり上限300万円

### 4 応募資格

以下(1)から(4)のいずれかに該当し、(5)の条件を満たす企業・団体等

- (1) 日本国内にて次の法人格を取得している団体  
一般財団法人、一般社団法人、公益財団法人、公益社団法人、社会福祉法人、  
特定非営利法人（NPO法人）
- (2) 中小企業：中小企業基本法に基づく中小企業者  
ただし、発行済株式の総数又は出資金額の2分の1以上が同一の大企業の所有に属している  
会社、大企業の役員を兼ねている者が役員総数の2分の1を占めている会社は含まないもの  
とする。
- (3) スタートアップ企業：創業5年以内で国内に拠点を持つ上場していない企業に限る。
- (4) 大学、研究機関：大学、高等専門学校、国立・公設試験研究機関、研究開発を行っている独  
立行政法人及び公益法人
- (5) 応募時に、過去3年分の財務諸表を提出できる企業・団体等（活動実績が3年に満たない場  
合は、最低1年以上の財務諸表を提出できる企業・団体等に限る）

※ただし、以下の企業・団体等は対象外とする。

- ・宗教活動または政治活動を目的とするもの
- ・暴力団または暴力団の構成員が経営に実質的に関与していると認められるもの
- ・区職員または区議会議員等が役員になっているもの

### 5 提案事業

#### (1) 提案事業の要件

提案の対象となる事業は次の5つ全てを満たす事業とする。

- ①区の課題に的確に答える提案であり、区を実証実験のフィールドとする事業
- ②公益性のある事業であり、一定の課題の解決や社会的要請に応えることができ、具体的な成果  
が見込まれる事業
- ③予算の見積もりが適正であり、提案の翌年度以降、助成がなくても提案者によって実施する  
ことが可能な事業
- ④先駆性、新しい視点、アイデアなどが含まれており、提案者の専門性や強みを生かした事業
- ⑤国や地方公共団体から補助金等の交付を受けていない事業

### 6 選考方法、審査基準

交付対象事業者の選定は、実行委員会において、(2)に掲げる観点で提案事業を審査し、決定す  
る。

#### (1) 選考方法

- 第一次審査（書類審査）
- 第二次審査（プレゼンテーション）

## (2) 審査基準の観点

### ① 事業目的（必要性）

- ・事業の目的が明確で、ファンドの目的に合致しているか。
- ・地域ニーズや地域課題、社会課題を正確に理解し、課題に対する具体的な解決策が示されているか。
- ・SDGsに資する事業であるか。

### ② 内容（有効性）

- ・事業の内容が具体的で、目的と整合したものになっているか。
- ・事業計画・スケジュールが具体的で、実現可能なものになっているか。

### ③ 実施体制

- ・実施体制（財務状況、人材、技術等）や責任体制が明確であり、計画的な事業実施が期待できるか。

### ④ 成果

- ・成果（時期、数値、指標、状態など）が具体的で計測可能なものになっているか。

### ⑤ コスト

- ・収支のバランスがとれ、費用の用途は事業目的に対し妥当か。
- ・積算根拠が具体的かつ妥当に記載されているか。
- ・資金計画が具体的であり、資金確保が考えられているか。

### ⑥ 将来性

- ・今後の事業の発展性が期待できるか。
- ・助成終了後も事業の継続が期待できるか。
- ・提案事業者の強みや専門性、独自性、先駆性が発揮できる内容であり、またそれが具体的に示されているか。

## 7 今後のスケジュール

令和6年9月1日～10月上旬	事業募集（区報9月1日号、（仮称）品川区ラボHP）
令和6年10月中旬	第一次審査（書類審査）
令和6年11月上旬	第二次審査（プレゼンテーション）
令和6年11月中旬	助成対象事業決定
令和6年11月下旬	助成金の交付（概算払）
令和7年3月～4月上旬	実績報告
令和7年4月	調査・助成金の額の確定
令和7年4月～5月	成果報告